

令和5年2月21日

報道機関 各位

長崎大学、北海道教育大学、鹿児島大学、琉球大学による へき地・離島・小規模校教育に係る連携協定調印式について

平素より、本学の教育研究につきまして、御理解並びに御協力をいただき誠にありがとうございます。

この度、本学、北海道教育大学、鹿児島大学、琉球大学は、へき地・離島・小規模校教育に係る連携協定を締結することとなり、下記のとおり調印式を挙行いたします。

つきましては、取材等にお越しいただき、貴メディアでお取り上げいただけると幸いです。

記

日時 令和5年2月28日(火) 14:00～

場所 学士会館 301号室

(東京都千代田区神田錦町 3-28 学士会館3階)

出席者

北海道教育大学学長	蛇 穴 治 夫
長崎大学教育学部長	藤 本 登
鹿児島大学教育学部長	有 倉 巳 幸
琉球大学教育学部長	萩 野 敦 子

協定の概要等 別紙のとおり

【本リリースに関するお問い合わせ先】

国立大学法人北海道教育大学教育研究支援部連携推進課 (小林)

TEL : 011-778-0942

FAX : 011-778-8376

E-mail : crc@j.hokkyodai.ac.jp

へき地・離島・小規模校教育の発展に寄与するための4大学連携

急速に進む学校規模縮小化に対応した教員養成と現職教員研修の充実は教員養成大学・学部の使命

- ☑ **地域に定着し意欲的に「へき地・小規模校教育実践」に取り組む教師は地域の学校・教育・文化を支える基盤。**各地域における学校統廃合は限界となっており、**地域が求める質の高い教員養成と現職教員研修がこれまで以上に重要。**
- ☑ **へき地・小規模校の環境は、令和の日本型学校教育で示された「全員参加型教育」「個別最適な学び」「協働的な学び」に最適。**
- ☑ **複式学校・少人数の特性をプラスに生かした教育実践や協働的な学び合いは、都市部の大規模校にも応用可能。**



へき地・小規模校教育のプラットフォーム構築

教育・研究の成果の地域への還元

☆所在地に、「へき地・小規模校教育」が数多く点在し、当該課題に対応した教育・研究を推進してきた**北海道教育大学、長崎大学、鹿児島大学、琉球大学が大学間連携協定を締結**し体制を強化。学校規模縮小化に対応した教員養成及び現職教員研修等に取り組む。

- ★学校規模縮小化の課題に対応できる教員養成。
- ★山間へき地、離島へき地それぞれの地域の課題に対応した現職教員研修の全国展開。
- ★研究成果及び教育実践の展開によるSDG s 4「質の高い教育をみんなに」の推進。

- **へき地・離島・小規模校教育研究の研究開発**
 - ☑ 各大学における研究成果報告書等の共有等
- **へき地・離島・小規模校教育実践の開発**
 - ☑ ICT遠隔合同授業、異学年集団指導、自由進度学習等の開発等
- **大学教育に関するカリキュラム・教育実践の開発**
 - ☑ へき地教育に関する大学カリキュラム・シラバスの共有等
- **へき地・離島・小規模校教育のFD活動の推進**
 - ☑ フォーラムの開催、FD研修会等への講師の派遣等
- **現職教員の資質向上のための研修プログラムの開発**
 - ☑ 現職教員研修の資料の相互提供等

- **地域に定着し、意欲的に教育実践を行う教員の輩出**
 - ☑ 大学で「へき地・小規模校教育」を学んだ若手・新卒教員が、地域に定着し意欲的にへき地・小規模校の現場で教育実践に取り組むことによる「学校力」「地域力」の向上。
- **都市部とへき地間、大規模校と小規模校間における「学校力」「地域力」の格差解消**
 - ☑ 研修受講機会等が少ない地方に教員に対する研修機会の提供による教員の資質能力向上。
- **へき地・離島・小規模校の魅力を引き出す実践の提供**
 - ☑ ICT遠隔合同授業、異学年集団指導、自由進度学習等の教育実践の提供及び当該教育実践の都市部の学校への応用実践の開発。